

管理型産業廃棄物最終処分量の将来予測

本資料は、委員会が行った将来予測の推計過程等をまとめたものである。

1 基本ケースの設定

(1) 利用者の排出見込量

エコサイクルセンター利用者の排出見込量は、以下の手順により推計した。

- ① エコサイクルセンター利用者を対象に実施したアンケート調査の結果から、平成27年度を100とした場合の埋立品目別の変動指数を推計する。
- ② 平成27年度におけるエコサイクルセンターの各管理型産業廃棄物の埋立実績値に変動指数を乗じて、利用者の排出見込量を推計する。(表 1-1)

表 1-1 エコサイクルセンター利用者の排出見込量

[t/年]

	実績値	将来予測値		
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
燃え殻	3,136	3,324	3,324	3,324
ばいじん	418	493	493	493
汚泥(無機性)	30	25	25	25
鉱さい	4,801	5,329	5,329	5,377
廃石綿等	44	52	55	58
廃石膏ボード	3,112	3,174	3,143	3,143
建設混合廃棄物	21	22	23	24
合計	11,562	12,419	12,392	12,444

【計算例】

燃え殻[H32]: $3,324t = (3,136t[H27] \times 106[H32]) \div 100$

【備考：利用者アンケート結果】

《エコサイクルセンター利用者の排出見込量（産業廃棄物の排出量）》

[t/年]

	実績値	将来見込量		
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
燃え殻	2,832	3,010	3,005	3,015
ばいじん	340	401	401	401
汚泥	1,403	1,175	1,175	1,175
鉱さい	4,882	5,443	5,443	5,463
廃石綿等	32	38	40	42
廃石膏ボード	4,434	4,514	4,470	4,472
建設混合廃棄物	1,195	1,282	1,311	1,345
合計	15,118	15,863	15,845	15,913

《エコサイクルセンター利用者の排出見込量（変動指数）》

	基準値	将来見込量		
	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
燃え殻	100	106	106	106
ばいじん	100	118	118	118
汚泥	100	84	84	84
鉱さい	100	111	111	112
廃石綿等	100	119	125	131
廃石膏ボード	100	102	101	101
建設混合廃棄物	100	107	110	113
合計	100	105	105	105

【計算例】

燃え殻[H32]: $106 = (3,010t[H32] \div 2,832[H27]) \times 100$

(2) 燃え殻（一般）の排出見込量

人口減少を考慮した燃え殻（一般）の排出見込量は、以下の手順により推計した。

- ① 周辺自治体（いの町、日高村）の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における人口ビジョンから平成27年度を100とした場合の人口の減少率を推計する。
- ② 周辺自治体（いの町、日高村）の一般廃棄物排出量に人口の減少率を乗じて、平成27年度を100とした場合の一般廃棄物排出量の減少率を推計する。なお、一般廃棄物は、家庭系ごみと事業系ごみに分類されるが、人口の変動による一般廃棄物排出量への影響は、家庭系ごみにあるとし、事業系ごみについては、実績値のままで推移するものとした。（表 1-2）
- ③ 平成27年度におけるエコサイクルセンターの燃え殻（一般）の埋立実績値に一般廃棄物排出量の減少率を乗じて、燃え殻（一般）の排出見込量を推計する。（表 1-3）

表 1-2 人口及び一般廃棄物排出量の減少率

		平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度	
人口[人/年]	A1:いの町	23,271	21,680	20,064	18,905	
	A2:減少率(A1/A1(H27))	100%	93.2%	86.2%	81.2%	
	B1:日高村	5,179	4,937	4,692	4,467	
	B2:減少率(B1/B1(H27))	100%	95.3%	90.6%	86.3%	
一般廃棄物(ごみ)排出量 [t/年]	いの町	C1:家庭系ごみ(C1(H27)×A2)	5,975	5,569	5,150	4,852
		C2:事業系ごみ	821	821	821	821
		C3:小計(C1+C2)	6,796	6,390	5,971	5,673
	日高村	D1:家庭系ごみ(D1(H27)×B2)	1,216	1,159	1,102	1,049
		D2:事業系ごみ	251	251	251	251
		D3:小計(D1+D2)	1,467	1,410	1,353	1,300
	E:合計(C3+D3)		8,263	7,800	7,324	6,973
	減少率(E/E(H27))		100%	94.4%	88.6%	84.4%

出典1)いの町まち・ひと・しごと創生総合戦略(平成27年10月)

出典2)日高村人口ビジョンまち・ひと・しごと創生総合戦略(平成28年3月)

注1)家庭系ごみ:一般廃棄物処理実態調査結果、環境省(平成26年度)より人口減少を考慮して推計

注2)事業系ごみ:一般廃棄物処理実態調査結果、環境省(平成26年度)から同量で推移すると仮定

注3)量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

表 1-3 燃え殻（一般）の排出見込量

	平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
A:一般廃棄物排出量の減少率	100%	94.4%	88.6%	84.4%
B:エコサイクルセンターの埋立実績値(燃え殻(一般))	651	-	-	-
燃え殻(一般)の排出見込量(A×B(H27))	-	615	577	549

注)量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

(3) 基本ケースにおける推計結果

基本ケースにおける推計結果は、表 1-4 に示すとおりである。

表 1-4 基本ケースにおける推計結果

[t/年]

		実績値	将来予測値		
		平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
利用者の排出見込量	燃え殻	3,136	3,324	3,324	3,324
	ばいじん	418	493	493	493
	汚泥(無機性)	30	25	25	25
	鉱さい	4,801	5,329	5,329	5,377
	廃石綿等	44	52	55	58
	廃石膏ボード	3,112	3,174	3,143	3,143
	建設混合廃棄物	21	22	23	24
	計 ①	11,562	12,419	12,392	12,444
燃え殻(一般) ②		651	615	577	549
基本ケース(①+②)		12,213	13,034	12,969	12,993

2 最大ケースの設定

(1) 産業振興計画による影響量

平成 28 年度 3 月に策定された「第 3 期高知県産業振興計画（以下「産業振興計画」という。）」による影響量は、以下の手順により推計した。

- ① 産業振興計画の数値目標（目標年次は平成 37 年度まで）から、産業廃棄物最終処分量を積算し、平成 26 年度を 100 とした場合の産業廃棄物最終処分量の増加率を推計する。（表 2-1）
- ② 平成 26 年度におけるエコサイクルセンターの管理型産業廃棄物の埋立実績値に増加率を乗じて、産業振興計画による排出見込量を推計する。（表 2-2）
- ③ 利用者の排出見込量には、産業振興計画の排出見込量を考慮している可能性があるため、利用者の排出見込量と産業振興計画の排出見込量を比較して影響量を推計する。なお、参考までに、当該計画で数値目標が示されていない平成 42 年度の排出見込量を、平成 32 年度から平成 37 年度までと同じ伸率で伸びて行くと仮定して推計した。（表 2-3）

表 2-1 産業廃棄物最終処分量の増加率

■第3期産業振興計画の影響を考慮した将来予測の手順

※第3期産業振興計画の影響を考慮した将来予測は、第4期高知県産業廃棄物処理計画に準拠して実施する。

- ① 平成26年度を基準値とし産業廃棄物排出量、最終処分量、最終処分率、第3期産業振興計画における製造出荷額等を設定する。
- ② 平成26年度における産業廃棄物の排出原単位を推計する。
- ③ 産業振興計画の数値目標を推計する。(数値目標はH37年度までとなっているため、H42年度の値は同様の傾向で推移するものと仮定して設定)
- ④ 産業廃棄物の排出原単位と産業振興計画の数値目標から産業廃棄物排出量の将来予測値を推計する。
- ⑤ 平成26年度の業種別の産業廃棄物の最終処分率と④排出量の将来予測値から最終処分量の将来予測値を推計する。
- ⑥ 最終処分量の増加率を推計する。

■第3期産業振興計画の影響を考慮した将来予測値

業種	①基準値			②排出原単位		③第3期産業振興計画の数値目標			④排出量の将来予測値 [t/年]			⑤最終処分量の将来予測値 [t/年]				
	排出量 [t/年]	最終処分量 [t/年]	最終処分率 [%]	H26年度	H26年度	H26年度	単位	H32年度	H37年度	H42年度	H32年度	H37年度	H42年度	H32年度	H37年度	H42年度
A 農業	1,592	227									1,739	1,853	1,974	251	268	287
耕種農業+畜産農業	1,253	193	15.4	965	億円	1,230	1,075	1,150	1,493	1,597	1,395	1,493	1,597	215	230	246
林業	61	10	16.4	61	万m ³	101	80	90	90	101	80	90	101	13	15	17
その他の農業・林業	278	24	8.6								264	270	276	23	23	24
B 漁業	461	29	6.3	445	億円	513	468	490	508	531	485	508	531	31	32	33
C 鉱業	1,015	148	14.6								1,015	1,015	1,015	148	148	148
D 建設業	458,289	18,863	4.1								432,950	430,930	428,918	17,751	17,668	17,586
E 製造業	121,876	9,327	7.7								143,322	162,481	184,256	11,037	12,560	14,293
食品製造業+飲料・たばこ・飼料製造業	11,502	475	4.1	892	億円	1,156	1,018	1,085	1,399	1,497	13,127	13,991	14,907	538	574	611
木材・木製品製造業(家具を除く)	14,510	0	0.0	204	億円	290	226	256	256	290	16,075	18,209	20,627	0	0	0
その他の製造業	95,865	8,852	9.2	4,164	億円	6,460	4,957	5,659	5,659	6,460	114,120	130,281	148,722	10,499	11,986	13,682
F 電気・ガス・熱供給・水道業	416,860	556	0.1								438,874	456,142	474,245	439	456	474
G 情報通信業	101	11	10.9								96	90	85	10	10	9
H 運輸、郵便業	5,284	780	14.8								5,040	4,878	4,721	746	722	699
I 卸売・小売業	27,659	358	1.3								26,068	25,496	24,937	339	331	324
J 金融・保険業	441	26	5.9								441	441	441	26	26	26
K 不動産業	1,392	344	24.7								1,349	1,356	1,364	333	335	337
L 学術研究、専門・技術サービス業	3,276	34	1.0								3,726	4,089	4,501	37	41	45
M 飲食店、宿泊業	664	278	41.9	569	億円	831	670	746	871	970	782	871	970	328	365	406
N 生活関連サービス業、娯楽業	309	42	13.6								330	347	366	45	47	50
O 教育、学習支援業	3,740	2,459	65.7								3,740	3,740	3,740	2,457	2,457	2,457
P 医療、福祉	8,511	1,910	22.4								8,332	8,219	8,106	1,866	1,841	1,816
Q 複合サービス業	3,341	466	13.9								3,002	2,900	2,801	417	403	389
R サービス業(他に分類されないもの)	75,285	5,211	6.9								75,082	74,244	74,347	5,181	5,123	5,130
S 公務	4,194	651	15.5								4,329	4,452	4,579	671	690	710
T 分類不能の産業	7,392	185	2.5								7,392	7,392	7,392	185	185	185
U その他	2,320	58	2.5								2,320	2,320	2,320	58	58	58
合計	1,144,002	41,963									1,160,414	1,193,764	1,231,609	42,356	43,766	45,462
⑥産業廃棄物最終処分量の増加率														100.9	104.3	108.3

出典1) 第4期高知県産業廃棄物処理計画(平成28年3月)

出典2) 第3期高知県産業振興計画(平成28年3月)

注1) 色つきは、第3期産業振興計画で数値目標の項目を示す。

注2) 小数点以下を四捨五入していることから、合計が一致しない場合がある。

表 2-2 産業振興計画による排出見込量

[t/年]

	平成26年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
A: 産業廃棄物最終処分量の増加率	100%	100.9%	104.3%	108.3%
B: エコサイクルセンターの埋立実績値 (管理型産業廃棄物)	11,809	-	-	-
産業振興計画による排出見込量(A×B(H26))	-	11,915	12,317	12,789

注) 量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

表 2-3 産業振興計画による影響量

[t/年]

	将来予測値		
	平成32年度	平成37年度	平成42年度
産業振興計画による排出見込量	11,915	12,317	(参考) 12,789
利用者の排出見込量 (管理型産業廃棄物)	12,419	12,392	12,444
産業振興計画による影響量	利用者の排出見込量に含まれる。		

【備考：第3期産業振興計画における目標値】

産業振興計画における数値目標の項目		目標値					最終処分量の増加が懸念される産業分野
		H26	H31	H33	H37	単位	
農業分野	農業産出額	965	1,060	1,090	1,150	億円	耕種農業+畜産農業
	農業生産量	10	12	12	13	万t	-(農業産出額に含む)
林業分野	原木生産量	61	78	81	90	万m ³	林業
	木材・木製品製造業出荷額	204	220	232	256	億円	木材・木製品製造業(家具を除く)
水産業分野	漁業生産額	445	460	476	490	億円	漁業
	水産加工出荷額	175	200	203	220	億円	-(食品製造業+飲料+たばこ+飼料製造業に含む)
商工業分野	製造品出荷額等	5,260	6,000	6,400	7,000	億円	製造業 ^{注1)}
観光分野	県外観光客入込数	408	435	450	470	万人	-(観光総消費額に含む)
	観光総消費額	569	651	688	746	億円	飲食店、宿泊業 ^{注2)}
食品分野	食品製造業出荷額	892	1,000	1,035	1,085	億円	食品製造業+飲料+たばこ+飼料製造業
移住促進	県外からの年間移住者	518	1,000	-	-	組	-(対象外)

注1) 製造業には木材・木製品製造業(家具を除く)、食品製造業+飲料+たばこ+飼料製造業を含む。

注2) 観光総消費額は様々な業種に影響を与えることが想定されるが、最も影響が大きい(平成26年度で総消費額が多い業種)分野である飲食店、宿泊業を対象とした。

注3) 原木生産量の平成26年度の値: 高知県の原木生産量(平成27年)の公表について、高知県林業振興・環境部木材増産推進課

注4) 観光総消費額の平成26年度の値(交通費及び土産の影響を除く。): 平成26年度県外観光客入込・動態調査報告書、高知県観光振興部観光政策課

(2) 廃石膏ボードの排出見込量

廃石膏ボードの排出見込量は、以下の手順により実施した。

- ① 一般社団法人石膏ボード工業会が公表している廃石膏ボードの将来予測値（以下「全国予測値」という。）と環境省が公表している都道府県別の廃石膏ボードの排出割合から本県における廃石膏ボードの最終処分量を推計し、平成27年度を100とした場合の増加率を推計する。（表2-4）
- ② 平成27年度におけるエコサイクルセンターの廃石膏ボードの埋立実績値に全国値予測値を基に推計した増加率を乗じて、廃石膏ボードの排出見込量を推計する。（表2-5）
- ③ 全国値予測値を基に推計した廃石膏ボードの排出見込量と利用者の排出見込量の差し引きにより、廃石膏ボードの排出見込量を推計する。（表2-6）

表 2-4 廃石膏ボードの増加率

			[t/年]			
			平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
廃石膏ボードの排出量[t]	全国	A1:新築系	163,000	161,000	159,000	159,000
		A2:解体系	1,108,000	1,467,000	1,855,000	2,248,000
		A3:合計(A1+A2)	1,271,000	1,628,000	2,014,000	2,407,000
	高知県	B1:新築系	652	644	636	636
		B2:解体系	4,432	5,868	7,420	8,992
		B3:合計(B1+B2)	5,084	6,512	8,056	9,628
廃石膏ボードの最終処分量[t]	高知県	C1:新築系(B1×4%)	26	26	25	25
		C2:解体系(B2×70%)	3,102	4,108	5,194	6,294
		C3:合計(C1+C2)	3,128	4,134	5,219	6,319
廃石膏ボードの増加率(C3[H27]×C3/C3[H27])			100%	132%	167%	202%

出典) 石膏ボードハンドブック(一般社団法人石膏ボード工業会)

注) 廃石膏ボードの最終処分率は新築系4%、解体系70%である。(P.5-9を参照)

注) 量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

表 2-5 廃石膏ボードの排出見込量 (1)

		[t/年]			
		平成27年度	平成32年度	平成37年度	平成42年度
A:	廃石膏ボードの増加率	100%	132%	167%	202%
B:	エコサイクルセンターの埋立実績値 (廃石膏ボード)	3,112	-	-	-
廃石膏ボードの排出見込量(A×B(H27))		-	4,108	5,197	6,286

注) 量及び割合は表示桁以下を四捨五入している。

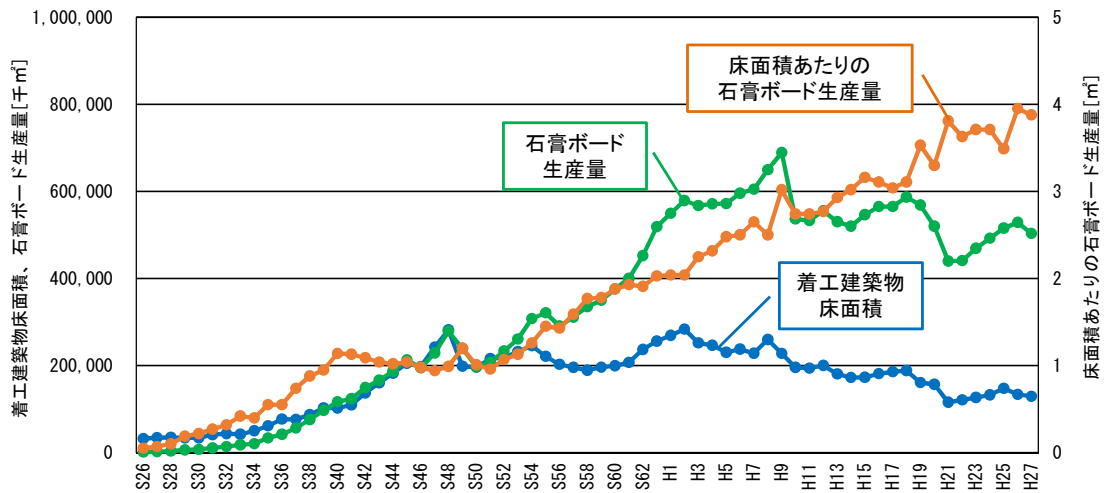
表 2-6 廃石膏ボードの排出見込量 (2)

[t/年]

	将来予測値		
	平成32年度	平成37年度	平成42年度
推計した排出見込量 ①	4,108	5,197	6,286
利用者の排出見込量 ②	3,174	3,143	3,143
差し引き (①-②)	934	2,054	3,143

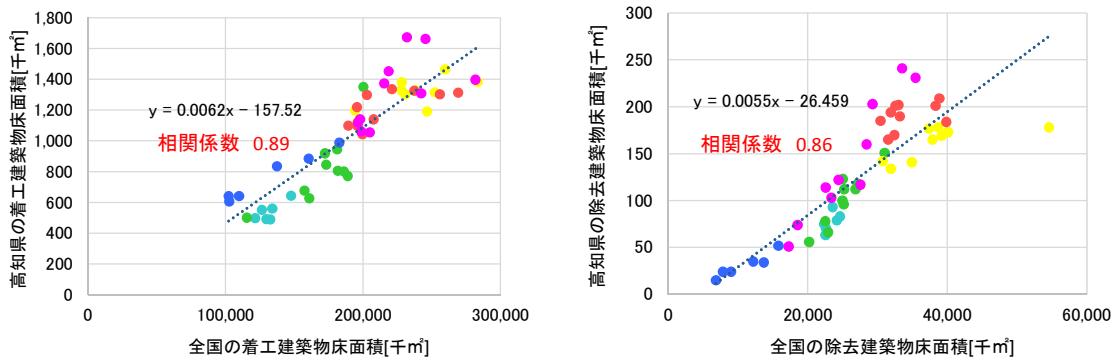
【備考：廃石膏ボードの排出量】

《着工建築物床面積と生産量の関係》



出典) 石膏ボード生産量: 石膏ボードハンドブック(一般社団法人石膏ボード工業会)
 着工建築物床面積: 建築動態統計調査(国土交通省)

《全国と高知県における着工建築物及び除去建築物床面積の関係》

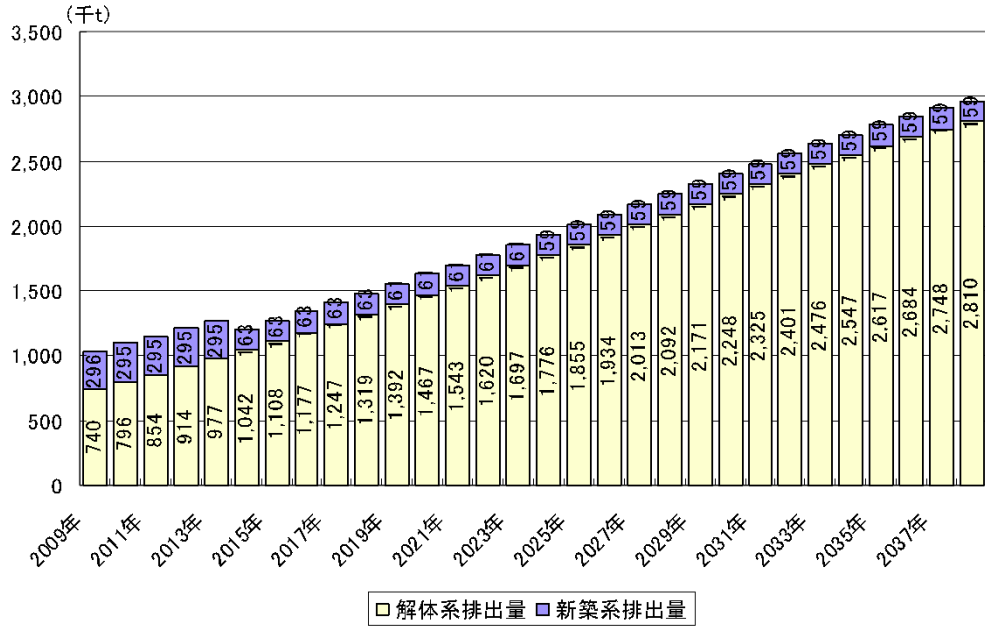


● 1964年～1969年 ● 1970年～1979年 ● 1980年～1989年 ● 1990年～1999年 ● 2000年～2009年 ● 2010年～2015年

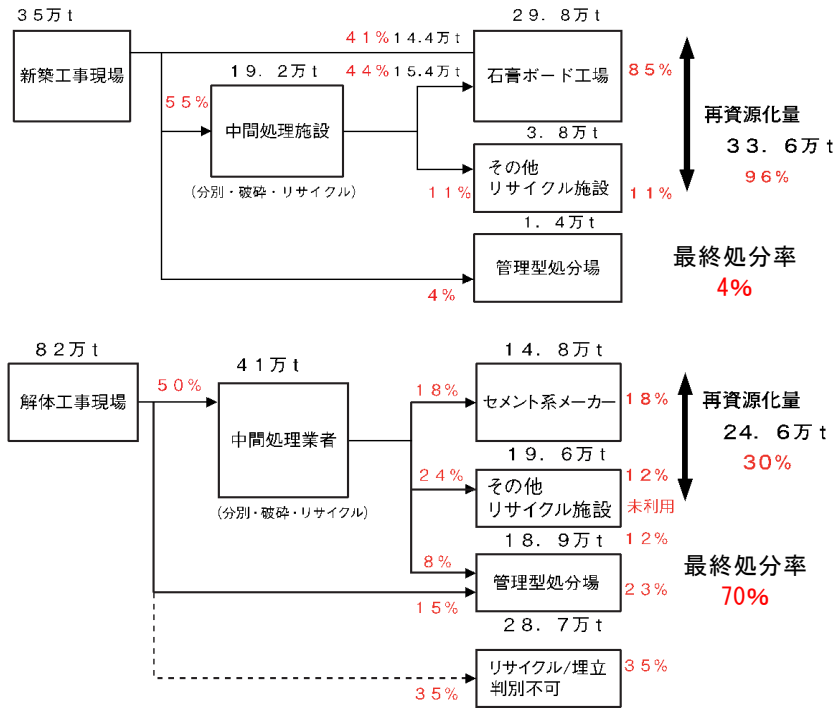
出典) 着工建築物床面積 (S39～H27年)、除去建築物床面積 (S39～H27年): 建築動態統計調査(国土交通省)

【備考：廃石膏ボードの排出量】

《一般社団法人石膏ボード工業会における全国の将来予測値》



《廃石膏ボードの最終処分率》



出典) 石膏ボードハンドブック (一般社団法人石膏ボード工業会)

【備考：廃石膏ボードの排出量】

《環境省における都道府県別の廃石膏ボード排出割合》

全国	新築系	解体系	合計
	新築系排出量推計 (万 t)	解体系排出量推計 (万 t)	年間総排出量 推計 (万 t)
全国	29.5	79.6	109.1

都道府県 別	新築系			解体系			合計 年間総排出量 推計 (万 t)
	着工建築物床 面積 (㎡)	着工建築物 床面積の 県別割合 (%)	新築系 排出量 推計 (万 t)	除却建築物 床面積 (㎡)	着工建築物 床面積の 県別割合 (%)	解体系 排出量 推計 (万 t)	
北海道	5,792,923	3.9%	1.1	1,305,477	5.8%	4.6	5.7
青森県	1,302,112	0.9%	0.3	331,804	1.5%	1.2	1.4
岩手県	1,406,635	0.9%	0.3	234,567	1.0%	0.8	1.1
宮城県	2,750,171	1.8%	0.5	378,737	1.7%	1.3	1.9
秋田県	1,176,693	0.8%	0.2	262,499	1.2%	0.9	1.2
山形県	1,181,172	0.8%	0.2	360,073	1.6%	1.3	1.5
福島県	2,101,173	1.4%	0.4	485,101	2.1%	1.7	2.1
茨城県	3,977,658	2.7%	0.8	477,046	2.1%	1.7	2.5
栃木県	2,708,385	1.8%	0.5	377,314	1.7%	1.3	1.9
群馬県	2,674,333	1.8%	0.5	334,681	1.5%	1.2	1.7
埼玉県	8,587,189	5.8%	1.7	851,601	3.8%	3.0	4.7
千葉県	7,423,909	5.0%	1.5	851,810	3.8%	3.0	4.5
東京都	15,647,734	10.5%	3.1	2,436,141	10.8%	8.6	11.7
神奈川県	9,923,780	6.7%	2.0	1,355,870	6.0%	4.8	6.7
新潟県	2,859,357	1.9%	0.6	682,847	3.0%	2.4	3.0
富山県	1,408,868	0.9%	0.3	219,153	1.0%	0.8	1.1
石川県	1,506,859	1.0%	0.3	167,140	0.7%	0.6	0.9
福井県	967,449	0.6%	0.2	151,112	0.7%	0.5	0.7
山梨県	984,988	0.7%	0.2	171,142	0.8%	0.6	0.8
長野県	2,436,600	1.6%	0.5	450,178	2.0%	1.6	2.1
岐阜県	2,538,511	1.7%	0.5	381,122	1.7%	1.3	1.8
静岡県	5,320,538	3.6%	1.1	686,066	3.0%	2.4	3.5
愛知県	10,409,600	7.0%	2.1	1,699,964	7.5%	6.0	8.0
三重県	2,626,252	1.8%	0.5	316,321	1.4%	1.1	1.6
滋賀県	2,162,613	1.5%	0.4	380,063	1.7%	1.3	1.8
京都府	2,493,191	1.7%	0.5	292,680	1.3%	1.0	1.5
大阪府	9,647,326	6.5%	1.9	1,060,934	4.7%	3.7	5.6
兵庫県	6,319,071	4.2%	1.3	919,961	4.1%	3.2	4.5
奈良県	1,259,351	0.8%	0.2	183,624	0.8%	0.6	0.9
和歌山県	1,001,065	0.7%	0.2	153,844	0.7%	0.5	0.7
鳥取県	527,784	0.4%	0.1	136,844	0.6%	0.5	0.6
島根県	723,633	0.5%	0.1	286,796	1.3%	1.0	1.2
岡山県	2,025,318	1.4%	0.4	326,378	1.4%	1.1	1.6
広島県	2,991,210	2.0%	0.6	412,545	1.8%	1.5	2.0
山口県	1,451,210	1.0%	0.3	355,298	1.6%	1.3	1.5
徳島県	809,367	0.5%	0.2	105,062	0.5%	0.4	0.5
香川県	1,219,811	0.8%	0.2	179,809	0.8%	0.6	0.9
愛媛県	1,561,674	1.0%	0.3	213,983	0.9%	0.8	1.1
高知県	614,820	0.4%	0.1	79,579	0.4%	0.3	0.4
福岡県	5,856,597	3.9%	1.2	493,190	2.2%	1.7	2.9
佐賀県	1,039,192	0.7%	0.2	121,204	0.5%	0.4	0.6
長崎県	1,137,365	0.8%	0.2	164,779	0.7%	0.6	0.8
熊本県	1,944,251	1.3%	0.4	597,347	2.6%	2.1	2.5
大分県	1,416,635	1.0%	0.3	438,579	1.9%	1.5	1.8
宮崎県	1,243,084	0.8%	0.2	310,521	1.4%	1.1	1.3
鹿児島県	1,745,926	1.2%	0.3	163,070	0.7%	0.6	0.9
沖縄県	1,940,054	1.3%	0.4	268,396	1.2%	0.9	1.3
合計	148,843,434	100.0%	29.5	22,612,249	100.0%	79.6	109.1

出典) 平成 24 年度廃石膏ボードの再資源化促進方策検討業務報告書 (環境省)

(3) 最大ケースにおける推計結果

最大ケースにおける推計結果は、表 2-7 に示すとおりである。

表 2-7 最大ケースにおける推計結果

[t/年]

		将来予測値		
		平成32年度	平成37年度	平成42年度
利用者の排出見込量	燃え殻	3,324	3,324	3,324
	ばいじん	493	493	493
	汚泥(無機性)	25	25	25
	鉍さい	5,329	5,329	5,377
	廃石綿等	52	55	58
	廃石膏ボード	3,174	3,143	3,143
	建設混合廃棄物	22	23	24
	小計	12,419	12,392	12,444
燃え殻(一般)		615	577	549
基本ケース ①		13,034	12,969	12,993
増加	廃石膏ボードの増加量 ②	934	2,054	3,143
最大ケース (①+②)		13,968	15,023	16,136
増加率 (最大ケース/基本ケース)		7.2%増加	15.8%増加	24.2%増加

3 最小ケースの設定

最小ケースは、廃石膏ボードの県外でのリサイクルが実現できたと仮定して推計した。

最小ケースにおける推計結果は、表 3-1 に示すとおりである。

表 3-1 最小ケースにおける推計結果

[t/年]

		将来予測値		
		平成32年度	平成37年度	平成42年度
利用者の排出見込量	燃え殻	3,324	3,324	3,324
	ばいじん	493	493	493
	汚泥(無機性)	25	25	25
	鉍さい	5,329	5,329	5,377
	廃石綿等	52	55	58
	廃石膏ボード	3,174	3,143	3,143
	建設混合廃棄物	22	23	24
	小計	12,419	12,392	12,444
燃え殻(一般)		615	577	549
基本ケース ①		13,034	12,969	12,993
縮減	廃石膏ボードの減少量 ②	△ 3,174	△ 3,143	△ 3,143
最小ケース (①+②)		9,860	9,826	9,850
減少率 (最小ケース/基本ケース)		24.4%減少	24.2%減少	24.2%減少

4 エコサイクルセンターの埋立終了時期の見通し

これまで検討した基本ケース、最大ケース、最小ケースにおけるエコサイクルセンターの埋立終了時期の見通しは、図 4-1 及び表 4-1 に示すとおりである。

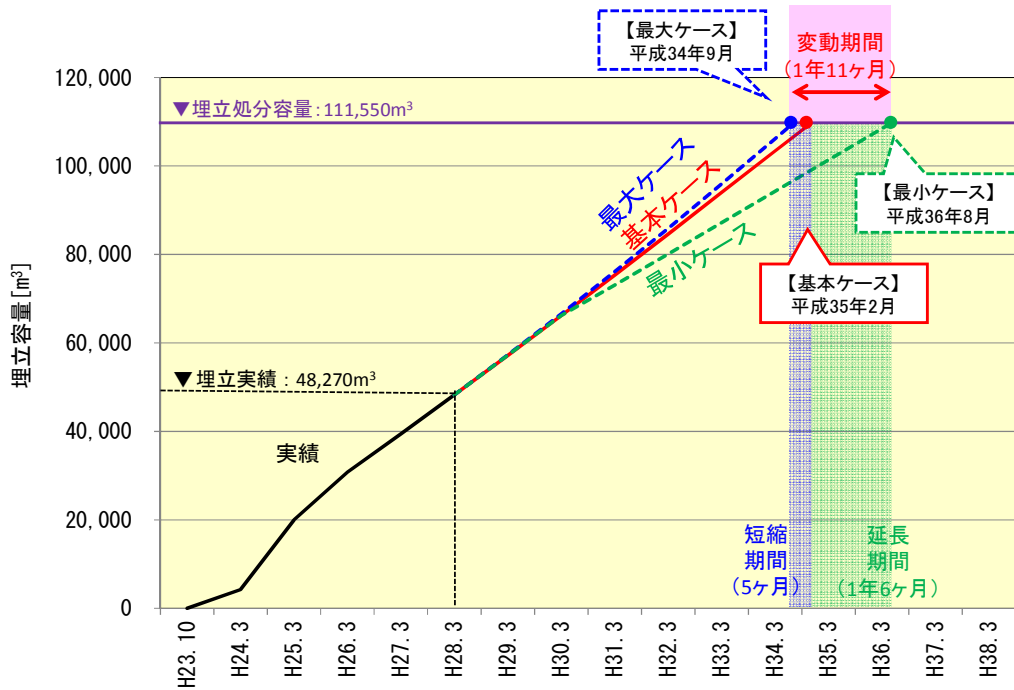


図 4-1 エコサイクルセンターの埋立終了時期の見通し

表 4-1 エコサイクルセンターの埋立終了時期の見通し

	実績値										将来予測値											
	平成23年10月	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度	平成34年度	平成35年度	平成36年度	平成37年度	平成38年度	平成39年度	平成40年度	平成41年度	平成42年度	
埋立実績	埋立重量[t]	0	8,502	18,543	13,640	12,378	12,213	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	0	4,269	15,717	10,845	8,640	8,799	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	111,550	107,281	91,564	80,719	72,079	63,280	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基本ケース	埋立重量[t]	-	-	-	-	-	-	12,378	12,543	12,708	12,873	13,034	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	8,905	9,024	9,142	9,261	9,377	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	54,375	45,351	36,209	26,948	17,571	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最大ケース	埋立重量[t]	-	-	-	-	-	-	12,553	12,892	13,263	13,603	13,968	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	9,031	9,275	9,542	9,786	10,049	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	54,249	44,974	35,432	25,646	15,597	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
最小ケース	埋立重量[t]	-	-	-	-	-	-	12,378	12,543	12,708	12,873	13,034	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	8,905	9,024	9,142	9,261	9,377	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	54,375	45,351	36,209	26,948	17,571	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
将来予測値																						
埋立実績	埋立重量[t]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
基本ケース	埋立重量[t]	13,021	13,008	12,995	12,982	12,969	12,974	12,979	12,984	12,989	12,993	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	9,368	9,358	9,349	9,340	9,330	9,334	9,337	9,341	9,345	9,347	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	8,203	-1,155	-10,504	-19,844	-29,174	-38,508	-47,845	-57,186	-66,531	-75,878	-85,225	-94,572	-103,919	-113,266	-122,613	-131,960	-141,307	-150,654	-160,001	-169,348	-178,695
最大ケース	埋立重量[t]	14,179	14,390	14,600	14,811	15,023	15,246	15,469	15,692	15,914	16,136	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	10,201	10,353	10,504	10,655	10,808	10,968	11,129	11,289	11,449	11,609	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	5,396	-4,957	-15,461	-26,116	-36,924	-47,892	-59,021	-70,310	-81,759	-93,368	-105,027	-116,736	-128,445	-140,154	-151,863	-163,572	-175,281	-187,000	-198,709	-210,418	-222,127
最小ケース	埋立重量[t]	9,853	9,846	9,839	9,832	9,826	9,831	9,836	9,841	9,846	9,850	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	埋立容量[m ³]	7,088	7,083	7,078	7,073	7,069	7,073	7,076	7,080	7,083	7,086	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	残余容量[m ³]	17,303	10,220	3,142	-3,931	-11,000	-18,073	-25,149	-32,229	-39,312	-46,398	-53,484	-60,569	-67,654	-74,739	-81,824	-88,909	-95,994	-103,079	-110,164	-117,249	-124,334

注1) 最小ケースにおける廃石膏ボードのリサイクルは、平成29～30年度に詳細調査、関係者協議、仕組みづくりを行い、平成31年度から実現と仮定。
 注2) 埋立重量から埋立容量を推計した換算係数は、1.39t/m³を使用(換算係数は、1927年度のエコサイクルセンターの埋立実績値から推計。※1.39=12,213÷8,799)
 注3) 赤字は残余容量がマイナスになったことを表示しており、エコサイクルセンターが満杯に達したことを示している。
 注4) 端数処理の関係から合計が一致しない場合がある。

5 管理型産業廃棄物最終処分量の将来予測

エコサイクルセンターの埋立終了後の将来予測についても、前段と同様に、基本ケース、最大ケース、最小ケースを設定し推計した。しかしながら、最小ケースについては、廃石膏ボードの県外でのリサイクルが実現したと仮定したものであり、その実現性や仮に実現できたとしてもその継続性が不確実であることから、新たに直近2カ年のエコサイクルセンターの埋立量と同量で推移する場合の想定を実績平均ケースとして追加した。

基本ケース : エコサイクルセンター利用者の排出見込量を考慮して設定

最大ケース : 基本ケースに廃石膏ボードの増加量を考慮して設定

最小ケース : 基本ケースに廃石膏ボードの県外でのリサイクルによる減少量を考慮して設定

実績平均ケース : エコサイクルセンターにおける平成26、27年度の埋立実績（一時的な増加要因のない直近2カ年）の平均値（11,686t/年）と同量で推移するものとして設定

なお、将来予測は、エコサイクルセンターの埋立終了が最も早くなる場合を想定して、平成34年10月を起点として行い、以下の条件により行った。（表5-1、表5-2）

【条件】

① 平成34年10月から平成66年度まで

燃え殻（一般）は、エコサイクルセンター建設時の固有の条件であったため、将来予測の対象外とする。（全ケース）

② 平成42年度から平成66年度まで

- ・ 長期的な予測が困難な利用者の排出見込量は、平成42年度以降は平成42年度の予測値と同量で推移する。（基本ケース、最大ケース、最小ケース）
- ・ 一般社団法人石膏ボード工業会により長期的な予測が行われている廃石膏ボードの排出量は、増加傾向で推移する。（最大ケース）

表 5-2 管理型産業廃棄物の将来予測値 (埋立重量と埋立容量)

		長期将来予測値																	→注3) 参照			
		→燃え殻(一般)を考慮しない																	平成42年度	平成43年度	平成44年度	
基本ケース	埋立重量[t]	平成34年10月	6,205	12,404	12,399	12,392	12,403	12,414	12,425	12,436	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444
	埋立容量[m ³]		4,464	8,924	8,920	8,915	8,923	8,931	8,939	8,947	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953
最大ケース	埋立重量[t]		6,896	14,009	14,228	14,446	14,675	14,904	15,133	15,361	15,587	15,813	16,039	16,265	16,491	16,717	16,943	17,169	17,395	17,621	17,847	18,073
	埋立容量[m ³]		4,961	10,078	10,236	10,393	10,558	10,722	10,887	11,051	11,214	11,377	11,541	11,705	11,869	12,033	12,197	12,361	12,525	12,689	12,853	13,017
最小ケース	埋立重量[t]		4,624	9,248	9,249	9,249	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250	9,250
	埋立容量[m ³]		3,327	6,653	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654	6,654
実績平均ケース	埋立重量[t]		5,843	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686
	埋立容量[m ³]		4,204	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407
基本ケース	埋立重量[t]	平成45年度	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444
	埋立容量[m ³]		8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953
最大ケース	埋立重量[t]		16,210	16,427	16,614	16,801	16,988	17,174	17,361	17,548	17,735	17,922	18,109	18,296	18,483	18,670	18,857	19,044	19,231	19,418	19,605	19,792
	埋立容量[m ³]		11,662	11,818	11,953	12,087	12,222	12,356	12,491	12,625	12,760	12,894	13,029	13,163	13,298	13,432	13,567	13,701	13,836	13,970	14,105	14,239
最小ケース	埋立重量[t]		9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301
	埋立容量[m ³]		6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691
実績平均ケース	埋立重量[t]		11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686
	埋立容量[m ³]		8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407
基本ケース	埋立重量[t]	平成56年度	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444	12,444
	埋立容量[m ³]		8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953	8,953
最大ケース	埋立重量[t]		17,486	17,548	17,610	17,672	17,703	17,766	17,828	17,890	17,921	17,983	18,046	18,109	18,171	18,234	18,296	18,359	18,421	18,484	18,546	18,609
	埋立容量[m ³]		12,580	12,624	12,669	12,714	12,736	12,781	12,826	12,871	12,893	12,937	12,983	13,028	13,073	13,118	13,163	13,208	13,253	13,298	13,343	13,388
最小ケース	埋立重量[t]		9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301	9,301
	埋立容量[m ³]		6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691	6,691
実績平均ケース	埋立重量[t]		11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686	11,686
	埋立容量[m ³]		8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407	8,407

注1) 長期将来予測は、最大ケースにおけるエコサイクルセンター埋立終了時期である平成34年10月から推計。
 注2) 実績平均ケースについては、H26、H27年度の埋立実績値から燃え殻(一般)を除外した値の平均値として推計。※11,686=(11,809[H26]+11,562[H27])/2
 注3) 平成42年度以降は、利用者の排出量は平成42年度の数量で推移する、廃石膏ボードの排出量は増加傾向(一般社団法人石膏ボード工業会のデータを活用)で推移すると推計。
 注4) 平成34年度については、平成34年9月でエコサイクルセンターが埋立終了すると見込まれることを踏まえ、平成34年10月～平成35年3月までの将来予測値を記載。
 注5) 端数処理の関係から合計が一致しない場合がある。
 注6) 埋立重量から埋立容量を推計した換算係数は、1.39t/m³を使用(換算係数は、H27年度のエコサイクルセンターの埋立実績値から推計。※1.39=12,213÷8,799)